

2026

4 April

## 十三公民館だより

発行 十三公民館 TEL・FAX 91-1755

## 卒業

3月12日(木)、十三中学校第79回卒業証書授与式が午前10時より同校体育館で行われ、男子12名女子8名の卒業生20名の一人ひとりに瀬戸一太校長より卒業証書が授与されました。

式辞では、これからの人生、皆さんは予測困難な荒波の中を航海していくことになります。その旅路で私が皆さんに贈りたい言葉は、「レジリエンス」、すなわち「折れない心、しなやかな強さ」です。



3月13日(金)、湖南小学校の卒業証書授与式が同校体育館で行われ、男子19名、女子8名の卒業生27名に山口千香子校長より、卒業証書が授与されました。式辞では、これからも幸せな人生を送ってほしいとして、卒業生に向けて二つの話がありました。

一つは、夢中になるものを見付け、努力することです。夢は簡単には叶いませんが、「なりたい自分」に向かって、あきらめなければ、道は続きます。困難を乗り越え、失敗にくじけずに、しなやかに強く、自分の信じる道を進んでください。

二つは、素直さと謙虚さを忘れないことです。



人生には、自分の力ではどうにもならない逆風が吹く日もあります。しかし、本当に強い人とは、一度も倒れない人のことではありません。倒れるたびに起き上がり、その経験を糧にして、以前よりも深く、たくましくしなやかに成長できる人のことです。どうか、時代の波に流されるのではなく、自らの意志という舵をしっかりと握ってください。自分の信じる道を、自分の足で歩み、困難さえも自分を創る一部に変えていく。そんな「たくましさ」を持ち、これからの正解のない時代を生き抜いてほしいと願っていますと話しました。



人は一人で生きていけません。人への感謝の心を持ち、素直な眼差しと謙虚な言葉があれば、自然と自分のまわりに助けてくれる人が集まってくるものです。互いに助け合うときにこそ、人としての学びがあり、自分をしっかりと見つめることができます。この時の成長が幸せへとつながります。もし、自分のちからだけで答えが見つからない時、くじけそうなときは、支えてくれる人がいることを思い出し、頼ってください。どんな時でも、みんなを考えれば道は開けてきますと話しました。

# 十三地区の史跡・伝承

## 布勢地区

### 飯久保城に関連した地名「布勢村史より」

#### ○城下町

飯久保は飯久保城の城下町で、戦国期、放生津町に次いで産業、交通の要衝として栄えた町である。

鍛冶屋町・警女町・正保寺・光西寺等の地名が残っているのは城下町をしのぶのにふさわしい。

鍛冶屋橋の近くに、昔から目回り一丈余りの老松があったが、大正十年ごろ枯死した。

村人は杉を植えるため、松の根を掘り起こすと、おびただしい人骨が出てきた。松の木は塚木だったので、そこで、ていねいに供養し、塚木として杉の苗を植えた。

#### ○浮橋

飯久保より神代へ通じる道路付近を浮橋といい、昔は非常に深い田だったので、橋を架け、城へ出入りした。

飯久保城が攻撃された時は、その橋を切り落とし、人馬の進撃を食い止める所だったらしい。

#### ○舟中（フナカ）

城飯久保と神代との境界をなす丘陵の下、田の中に舟中という小さな森があった。そこは城主の舟を係留した所といわれている。

後世、付近一帯が田になってからでも、舟中一帯は深い沼田だったため、誤って落ちたりすると、はい上がることができず、死んだ人もいたという。

## 4月の講座・サークル案内

講座名	曜日	実施日	時間	団体・講師名
詩吟	月	6日・13日・20日	13時30分～	大賀さよ子先生
手芸	火	14日・21日・28日	13時00分～	
詩吟	水	1日・8日・15日・22日・29日	10時30分～	斉藤美紀子先生
3B体操	木	2日・9日・16日・23日・30	10時00分～	堀川絹代先生
オカリナ	金	10日・24日	14時00分～	尾崎春夫先生
バランスボール	日	5日・19日	10時00分～	浦野 司先生